



中田造林組合の樹木調査

約3000株のアヤマが咲きそろう「板仲あやめ園」

【まちの自然を活かす】
「中田造林組合」では地域の山林資源を活かした良質な建築資材の生産・販売やしいたけの原木づくり、山野草の保護、町民が楽しめる森林づくりなどを行っています。
「板仲あやめ園整備委員会」では、地域の自然環境を活かした公園づくりを行い、毎年、夏になると「板仲あやめまつり」を開催しています。



式部の高徳を偲び、地区の人々が建立したと伝えられる「式部堂」

和泉式部が産湯に浸ったと伝えられる「小和清水」

【まちの歴史を活かす】
本町では地域住民と協力し合いながら、まちの歴史を活かした地域づくりを積極的に進めています。そのひとつが「式部の里」づくり実行委員会です。これは平安の歌人和泉式部ゆかりの史跡が数多く残る曲木地区の住民が「和泉式部」という地域資源を活かし、元氣の出るまち、魅力的な地域づくりを行おうと結成したもので、史跡の調査・研究・整備などを行っています。



「王子平共有炭窯」の炭焼き



伝統料理教室

【まちの伝統文化を活かす】
まちの伝統文化を親から子、孫へと伝えていくために、本町では地域に伝わる「伝統行事」や「伝統料理」「伝統技術」などを活かしたまちづくり、人づくりを行っています。
王子平地区では、地域住民が「王子平共有炭窯」を結成し、良質な木炭の生産・販売をすると共に、山林の再生や環境美化、地域の活性化や後継者の育成などを進めています。

地域資源を活かす

【元氣を未来へいしかわまち】

人々に季節の恵みをもたらす豊かな自然、時代を築いてきた先人たちの足跡を伝えるまちの歴史、そして親から子へと代々受け継がれてきた伝統文化…。本町では地域に残るこうした財産を守り、伝えながら、石川町ならではの地域資源として、まちづくりに活かしていきたいと考えています。

まちの自然を、歴史を、伝統文化を次の世代に伝えていくために…。まちと地域の人々が一体となってさまざまな活動を行っています。

